

日本雑草学会第54回大会プログラム

会期：平成27年4月17日（金） 評議員会、若手の会
4月18日（土） 一般講演、ポスター発表、ミニシンポジウム、総会、
日本雑草学会賞授賞式、受賞者講演、懇親会
4月19日（日） 一般講演、ポスター発表、ミニシンポジウム

会場：

4月17日（金）

評議員会、若手の会：秋田市にぎわい交流館AU（あう）

（住所：〒010-0001 秋田市中通1丁目4番1号 電話：018-853-1133

URL：<http://www.akita-nigiwai-au.jp/> 秋田駅西口より徒歩10分）

4月18日（土）～19日（日）

一般講演、ポスター発表、総会等：秋田県立大学秋田キャンパス

（住所：〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241 番地438、電話：018-872-1500(代)）

4月18日（土）19：00～21：00

懇親会：秋田ビューホテル

（住所：〒010-0001 秋田県秋田市中通2-6-1 電話：018-832-1111 URL：<http://www.akitaviewhotel.jp/>

秋田駅西口より徒歩3分）

会場（一般講演・ポスター発表、総会等）案内・地図

1. 会場住所等

〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西 241 番地 438、TEL 018-872-1500(代)

秋田県立大学生物資源科学部（秋田キャンパス）

2. 秋田キャンパスへの主な交通手段

秋田県立大学秋田キャンパスは秋田市の北西に位置します。

- ・電車にて：秋田駅で奥羽本線あるいは男鹿線に乗り追分駅下車（所要時間15分）。追分駅より徒歩25分。タクシー5分（料金約900円）。途中で少し急な坂があります。なお、追分駅からのバス運行はありません。
- ・自動車にて：秋田北IC、または昭和男鹿半島ICから約15分。会場には十分な数の駐車場があります。車を翌朝まで駐車することもできます。
- ・秋田空港より：車で約1時間。秋田駅へはリムジンバス利用で約1時間。
- ・大会1日目（4月18日（土））の朝および夕刻に、学会参加者専用バス（無料）を運行します。ご利用下さい。

3. 学会参加者専用バス（無料）運行について

〈4月18日（土）朝〉

発車場所：秋田駅東口バスターミナル乗り場5番

（秋田駅を背にして左端のバス乗り場です）。

予定発車時間：8:00、8:05、8:10、8:15、8:20、8:25、8:30

（講演会場までの所要時間は約45分）



〈4月18日（土）夕刻〉

発車場所：秋田キャンパス

予定発車時間：17:30より順次発車（懇親会会場までの所要時間は約45分）

4. 電車の利用について

電車利用の場合は、JR 男鹿線あるいはJR 奥羽本線をご利用下さい。所要時間は約15分です。追分駅より会場へは、徒歩25分。タクシー5分（料金約900円）。途中に少し急な坂があります。なお、追分駅からのバス運行はありません。

秋田駅発車時間〈秋田駅から追分駅へ〉

7:49（男鹿線下り）、8:44（男鹿線下り）、9:13（奥羽本線下り）、9:48（奥羽本線下り）、10:17（男鹿線下り）、10:56（奥羽本線下り）、11:42（奥羽本線下り）。

追分駅発車時間〈追分駅から秋田駅へ〉

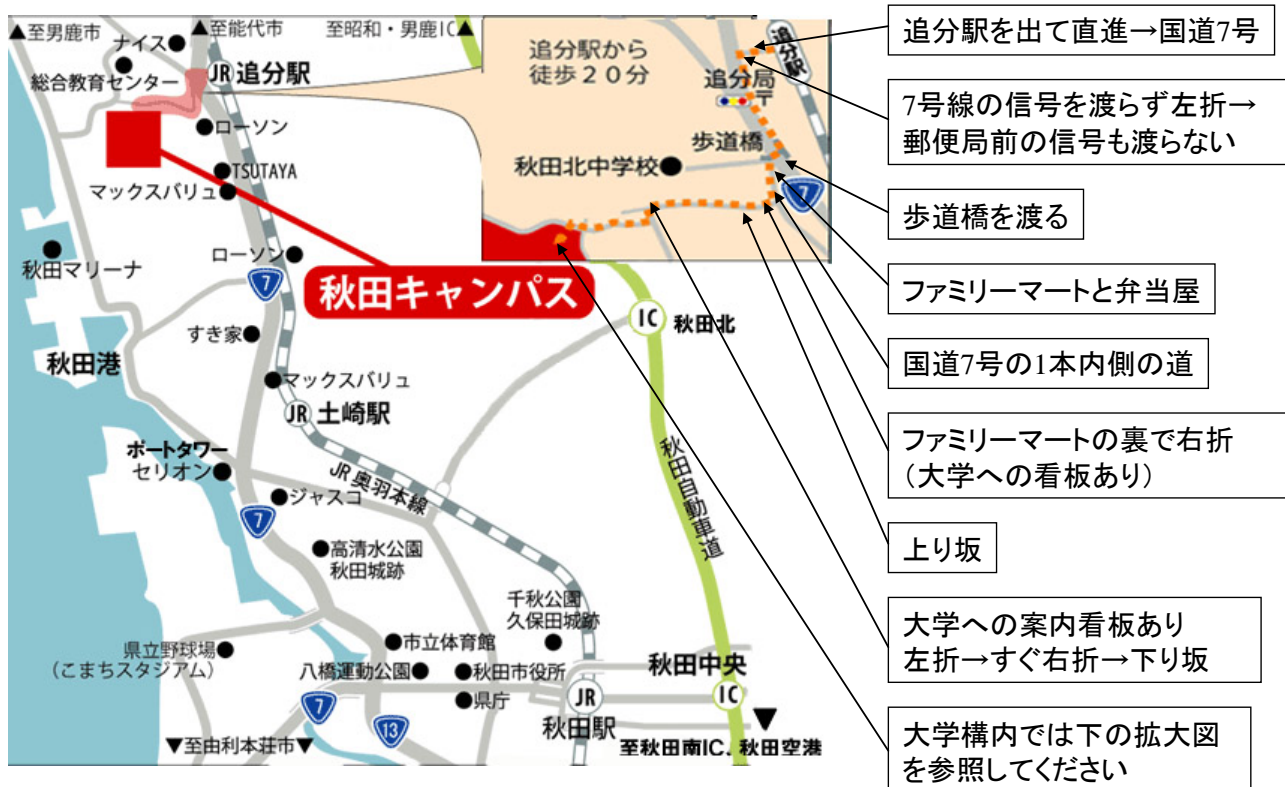
14:42（奥羽本線上り）、14:54（男鹿線上り）、15:24（奥羽本線上り）、16:20（男鹿線上り）、16:33（奥羽本線上り）、17:10（奥羽本線上り）、17:31（男鹿線上り）。

5. 昼食（4月18日、4月19日）について

4月18日（土）および19日（日）は、大学の食堂で昼食の営業をします。営業時間は両日ともに11:30～13:30です。メニューは日替わり定食 800円、カレー（サラダ付き）500円、親子丼（サラダ付き）500円です。ご利用下さい。

なお、大学内に売店はありません。また、徒歩10分圏内に食堂やコンビニはありません。ご不便をおかけしますが、ご承知おき下さい。

6. 会場案内図（会場までのアクセス）



4月17日(金)

13:00~17:00 評議員会 秋田市にぎわい交流館AU(あう)

17:00~19:30 若手の会 秋田市にぎわい交流館AU(あう)

4月18日(土)

9:45~11:15 ミニシンポジウム A会場(A303号室) B会場(A304号室) C会場(A211号室)

11:30~12:30 一般講演 A会場(A303号室) B会場(A304号室) C会場(A211号室)

12:30~13:30 各種委員会

13:30~14:30 ポスター発表(奇数番) ポスター会場(講堂前)

14:40~15:40 総会 S会場(講堂)

15:50~16:10 学会賞授賞式 S会場(講堂)

業績賞 受賞者: 中谷敬子((独)農研機構 中央農業総合研究センター)

業績名: スギナの繁殖特性と環境応答に関する基礎的研究

技術賞 受賞者: 酒井長雄(長野県農業試験場、長野県雑草イネ対策チーム)

業績名: 長野県における雑草イネ総合防除対策の組織的な取り組みの推進

奨励賞 受賞者: 岩上哲史(バイエルクロップサイエンス株式会社)

業績名: 数種水田雑草における除草剤非作用点抵抗性の分子機構に関する研究

論文賞

雑草研究 受賞者: 西村愛子・浅井元朗

論文名: 農耕地における雑草植生の種組成と量的構造評価のための簡易植生調査法

WBM 受賞者: Yoshinao Sada, Hajime Ikeda and Satoru Kizawa

論文名: Rapid diagnosis of sulfonyleurea-resistant *Schoenoplectus uncooides* [Roxb.] Palla using polymerase chain reaction–restriction fragment length polymorphism and isogene-specific direct sequencing.

16:20~17:20 受賞者講演 S会場(講堂)

業績賞 講演者: 中谷敬子 座長: 藤井義晴

技術賞 講演者: 酒井長雄 座長: 渡邊寛明

奨励賞 講演者: 岩上哲史 座長: 汪 光熙

19:00~21:00 懇親会 秋田ビューホテル(秋田駅西口より徒歩3分)

4月19日(日)

9:30~10:30 ポスター発表(偶数番) ポスター会場(講堂前)

10:45~12:30 一般講演 A会場(A303号室) B会場(A304号室) C会場(A211号室)

12:30~13:30 各種委員会

13:30~15:00 一般講演 A会場(A303号室) B会場(A304号室) C会場(A211号室)

15:00~16:30 ミニシンポジウム A会場(A303号室) B会場(A304号室)

第54回大会プログラム(概要版)

4月18日(土)	時間	A会場(A303号室)	B会場(A304号室)	C会場(A211号室)	ポスター会場(講堂前)	
	8:30~	受付				
	9:45~	ミニシンポ1	ミニシンポ2	ミニシンポ3	ポスター掲示	
		雑草における 雑種形成をめぐる 諸課題その3	観察研究における 統計的因果推論	雑草と昆虫 ~化学生態学と その応用~		
	11:15~	休憩(15分)				
	11:30~	一般講演	一般講演	一般講演	ポスター公開	
		水田雑草防除 (4題)	アレロパシー (4題)	海外情報 雑草群落 (4題)		
	12:30~	昼休み(1時間) 各種委員会				
	13:30~	閉場				コアタイム(奇数番)
	14:30~	休憩(10分)				
	14:40~	S会場(講堂) 総会				ポスター公開
	15:50~ 17:20終了	S会場(講堂) 学会賞授賞式、受賞者講演				

4月19日(日)	時間	A会場(A303号室)	B会場(A304号室)	C会場(A211号室)	ポスター会場(講堂前)	
	8:30~	受付				
	9:30~	閉場				コアタイム(偶数番)
	10:30~	休憩・移動				
	10:45~	一般講演	一般講演	一般講演	ポスター公開	
		除草剤抵抗性 (7題)	アレロパシー 畑雑草 (7題)	種生態・変異 河川群落管理 (7題)		
	12:30~	昼休み(1時間) 各種委員会				
	13:30~	一般講演	一般講演	一般講演	ポスター公開	
		新規除草剤 (5題)	帰化雑草 (5題)	生物防除 有機農業 (6題)		
	15:00~ 16:30 終了	ミニシンポ4	ミニシンポ5		ポスター撤去	
	環境リスク便益分析を 学ぶ:生産と環境が調 和した農地を維持する 雑草管理のために	雑草の福祉活用の 展開に関する 基礎的諸問題				

ミニシンポジウム・一般講演プログラム(詳細版)

※著者が連名である場合には発表者に○を付しています。

※講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象(若手による発表)です。

4月18日(土)								
受付								
A会場(A303号室)		B会場(A304号室)		C会場(A211号室)				
8:30								
9:45	ミニシンポジウム1 雑草における雑種形成をめぐる諸課題 その3 オーガナイザー: 富永 達(京都大) 講演: 西脇亜也(宮崎大)「ススキとオギの種間雑種について」 総合討論	ミニシンポジウム2 観察研究における統計的因果推論 オーガナイザー: 大東健太郎・芝池博幸(農環研)・水口亜樹(福井県立大) 講演1: 大東健太郎(農環研)「因果推論の歴史と観察研究における課題、およびその解決策」 講演2: 芝池博幸(農環研)「傾向スコアを利用したツルマメの潜在分布域予測」 総合討論	ミニシンポジウム3 雑草と昆虫 ~化学生態学とその応用~ オーガナイザー: 露崎 浩(秋田県立大) 講演1: 阿部 誠(秋田県立大)「ヒメスイバの生存戦略」 講演2: 野下浩二(秋田県立大)「匂いを介した雑草と昆虫の関わり ~アレチマツヨイグサとオオイトドリを例に~」					
11:15	休憩(15分)							
A会場(A303号室)		座長	B会場(A304号室)		座長	C会場(A211号室)	座長	
11:30	1 * 水稲用除草剤フルセトスルフロ ン・メソトリオン・ピラクロニル混 合剤の生物性能 ○菅沼丈人・井櫻賢二・小林庸 輔・宮下めぐみ・大野 研・吉井 博(石原産業株)	橘 雅明 (近中四国農研)	17	Screening of Natural Bioactive * Chemicals for the Control of <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lycopersici</i> . ○May Khaing Hpoo, Mishyna Maryia, Tsutomu Arie (TUAT), Laman Nikolai (Institute of Experimental Botany, Minsk, Belarus), Yoshiharu Fujii (TUAT)	森本 正則 (近畿大)	33	ウガンダにおけるイネ寄生雑草 <i>Rhaphicarpa fistulosa</i> について ○伊藤一幸(神戸大)・池田達則 (JICA, PRiDe)・太田耶子(JOCV, Ikulwe)・Patric Wetala(ウガンダ NARO)	宮浦 理恵 (東京農大)
11:45	2 * 宮城県の津波被災後復旧田の 水稲作における省力的なコウキ ヤガラ防除対策 ○大川茂範・北川蒼紘(宮城県 古川農試)		18	グラウンドカバープランツの雑 草抑制能とアレロパシー活性の 評価—関東地方ではヒメイワダ レソウが優れていた— ○藤井義晴・中村りり(東京農 工大)		34	ガーナ共和国のサバンナ低湿地 稲作圃場における除草剤を利用 した雑草防除体系と防除効果に 及ぼす播種時期の影響 ○内野 彰(中央農研)・森田弘彦・ 曾根千晴(秋田県立大)・Inusah Yahaya・Alhassan Zakaria・Fulera Tahiru(SARI)・松嶋賢一(中央農 研)・辻本泰弘・小田正人(国際農 研)・坂上潤一(鹿児島大)	
12:00	3 圃場管理の不良が原因で発生 する水稲除草剤の薬害 ~薬害 の主因は除草剤ではない~ ○徐 錫元・富松高治・内田孝 行・松本雅好・加藤 碧・池田芳 治(協友アグリ株)		19	重力屈性に影響をおよぼす生 理活性物質の開発と農林業へ の利用の試み ○藤井義晴・和佐野直也(東京 農工大)・新藤 充(九州大)・吉 田昌裕(徳島大)・森田(寺尾) 美代(名古屋大)		35	* 青森県内のリンゴ園における発 生雑草の一事例 ○川口佳則(青森県弘前市)	
12:15	4 田面の高低差が水稲用除草剤 のノビエに対する除草効果に及 ぼす影響 ○大隈光善・古賀巧樹・半田浩 二・山口 晃(植調福岡試験地)		20	DNAマイクロアレイを用いたヘ アリーベッチのアレロケミカルの 作用機構解析 ○和佐野直也・藤井義晴(東京 農工大)		36	在来植物多様性ホットスポットに おける外来植物の侵入—群落構 造図による侵入実態の解析— ○根本正之(東京大、明治大)・ 山田 晋(東京大)	
12:30	昼休み(1時間) 各種委員会							
13:30	ポスター発表(奇数番コアタイム 1時間)							
14:30	休憩(10分)							
14:40	S会場(講堂) 総会							
15:50	S会場(講堂) 学会賞授賞式、受賞者講演							
17:20	1日目終了							

4月19日(日) 午前									
8:30	受付								
9:30	ポスター発表(偶数番コアタイム 1時間)								
10:30	休憩・移動								
	A会場(A303号室)		座長	B会場(A304号室)		座長			
	C会場(A211号室)				座長				
10:45	5*	グリホサート抵抗性オシバおよびヒメムカシヨモギにおけるグリホサート抵抗性の獲得機構 ○永井絵理・寺本翔太・下野嘉子・富永 達(京都大)	松田 晃 (山形県総合農業センター)	21	イヌビエによるイネのアレロパシー活性の誘導 ○加藤 尚・猪野剛史(香川大)	春原由香里 (筑波大)	37	海岸のモザイク状環境におけるエノコログサの形態と耐塩性の変異 瀬戸内海の島の例 ○伊藤松雄(四国学院大)・中嶋佳貴・沖 陽子(岡山大)	渡邊 修 (信州大)
11:00	6	岡山県の乾田直播水稲栽培で確認されたシハロホップブチル抵抗性ヒメタイヌビエにおける多除草剤抵抗性 岩上哲史(バイエルクロップサイエンス(株))・橋本匡人・濱村謙史朗(植調研)・松嶋賢一・渡邊寛明・○内野 彰(中央農研)		22	イネとイヌビエのケミカルコミュニケーション ○加藤 尚・猪野剛史(香川大)		38*	ススキの開花期に関する地理的勾配と遺伝的背景 ○早川宗志・西田智子(農環研)	
11:15	7*	九州北部で出現したスルホニルウレア系除草剤抵抗性スズメノテッポウにおけるALS遺伝子の集団内多型 ○清久達裕・眞鍋陽平(京都大)・大段秀記(九州沖縄農研)・下野嘉子・富永 達(京都大)		23*	ユカイゾール蛍光プローブの合成研究と生物活性 ○星 智樹・吉澤結子・王 敬銘(秋田県立大)		39	Convex型の小穂を持つイヌビエについて ○森田弘彦(秋田県立大)・山末祐二(元京都大)・植村修二(大阪農芸高)・山口純一(東京都練馬区)	
11:30	8	長野県におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性オモダカの発生実態 ○青木政晴(長野農試)・内野彰(中央農研)・青木大輔(福井県大)・酒井長雄(長野農試)	大段秀記 (九州農研)	24*	ジクワット・パラコート液剤の種子発芽後枯殺効果 ネズミムギに対する効果に及ぼす変動要因の検討 ○有澤佳紘・池田啓介・杉山稔(シンジェンタジャパン株)	小林浩幸 (中央農研)	40	沖縄における2種セスパニア属植物の種子生産能 ○鬼頭 誠(琉球大)・中谷敬子(中央農研)	村中孝司 (ノースアジア大)
11:45	9*	山形県の水田におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性オモダカの分布-Trp574変異型抵抗性の発生した地域の状況調査 ○松田 晃(山形農研セ)・岩上哲史(バイエルクロップサイエンス(株))・内野 彰(中央農研)		25*	畑作用除草剤フルアジホップープーブチル・リニロン顆粒水和剤の生物性能 ○岡本啓之・山田龍・齊藤良文・寺田隆志・吉井博(石原産業株)		41*	筑後地域の大豆圃で発生するヒロハフウリンホオズキの種子発芽能 ○半田浩二・古賀巧樹・山口 晃・大隈光善(植調福岡試験地)	
12:00	10*	除草剤抵抗性イヌホタルイにおける実生検定法を用いた交差抵抗性の簡易検定 ○薄井雄太(秋田農試)・内野彰(中央農研)・三浦恒子(秋田農試)		26	沖縄県におけるサトウキビ雑草防除に関するアンケート調査 ○比屋根真一・出花幸之介・伊禮 信・下地格・高江洲賢文(沖縄県農研セ)		42	帰化アサガオ類の種子の成熟に伴う発芽・休眠の変化と採取後の貯蔵温度が種子の発芽・休眠に及ぼす影響 徐 錫元(協友アグリ株)	
12:15	11*	宮城県の水稲作園場におけるALS阻害剤交差抵抗性イヌホタルイの発生動向と対策除草剤の使用適期 ○北川菅紘・大川茂範(宮城県古川農試)		27	長野県のダイズ作におけるマルバルコウに対する除草剤による防除時期およびブーム振動制御装置による畦間株間処理の効果 ○青木政晴・原田良太・土屋学・細野哲・酒井長雄(長野農試)・水上智道(生研センター)		43*	オオキンケイギク駆除技術の検討(4)一窒素資材による抑制の継続的調査 ○飯田拓生・笹川大輔(鳥取大学)・武内慎太郎(国交省岡山河川事務所)・西原英治(鳥取大学)	

4月19日(日) 午後

昼休み(1時間) 各種委員会

12:30		昼休み(1時間) 各種委員会						
A会場(A303号室)		座長	B会場(A304号室)		座長	C会場(A211号室)		座長
13:30	12*	麦圃での新規除草剤ジフルフェニカン・フルフェナセット混合剤散布日前後の降雨処理が除草効果及び小麦に与える影響 ○古賀巧樹(植調福岡試験地)・伊藤雅仁(バイエルクロップサイエンス株)・半田浩二・山口 晃・大隈光善(植調福岡試験地)	川名義明(東北農研)	28	UAVIによるアレチウリ群落の検出と群落拡大速度の推定 ○渡邊 修・武久 聖(信州大)	44	植食性昆虫コガタリハムシの発生消長およびエゾノギシギシ摂食に関する研究 ○露崎 浩・佐々木幸吉・阿部 誠(秋田県立大)	嶺田拓也(農工研)
13:45	13*	新規水稲用除草剤ペンフレート・ベンゾピシクロン・ピラクニル混合剤の作用特性 ○山崎明彦・金安洋典・関野景介・山田祐司((株)エス・ディー・エス バイオテック)		29	ダイズ栽培での湛水による帰化アサガオ類とアレチウリの防除可能性 ○澁谷知子・黒川俊二(中央農研)	45	有機栽培水田の冬期湛水期間におけるコナギ埋土種子の垂直分布の推移~2年目(2014年)の調査結果~ ○月森 弘・安達康弘・小塚雅弘・角菜津子・道上伸宏・山崎智美(島根農技セ)	
14:00	14*	新規水稲用除草剤ペンフレート・ベンゾピシクロン・ピラクニル混合剤のクログワイに対する効果 ○野山晋平・福永 聡・赤坂達也(OATアグリオ株)		30	草高/条間比を用いたダイズ畑におけるアレチウリの要防除期間の推定 ○黒川俊二・澁谷知子(中央農研)	46*	イトミミズ類による土壌堆積作用のほ場内評価方法の検討 ~代かき前の湛水期間がコナギ発生に及ぼす影響~ ○安達康弘・月森 弘・小塚雅弘・道上伸宏・角菜津子(島根農技セ)	
14:15	15*	新規水稲用除草剤フェノキサスルホン・ベンスルフロンメチル・ベンゾピシクロン混合剤の作用特性 ○宮本恭輔・村井政彦・平林孝之・熊田秀治(日本農薬株)	鶴谷明宇(植調秋田)	31*	ダイズ作におけるフルチアセットメチル乳剤のアレチウリに対する防除効果 ○安藤慎一郎・高橋智恵子(宮城古川農試)・柴田亜紀彦・水島貴之(丸和バイオケミカル株)	47	稲わらに含まれる易分解性有機物が水田雑草に及ぼす影響 ○加藤 茂・阿部大介・三木孝昭・岩石真嗣((公財)自然農法セ)	野副卓人(中央農研)
14:30	16	新規除草剤フルフェナセットに関する研究 ○杉浦健司・佐瀬政明(バイエルクロップサイエンス株)		32*	ダイズ作において多発した難防除雑草アレチウリの完全防除の可能性 ○安藤慎一郎・高橋智恵子・大川茂範・石橋まゆ(宮城古川農試)	48*	移植後田面に施用した有機物の雑草害軽減効果は非作付け期間の土壌管理法が影響する ○三木孝昭・阿部大介・加藤 茂・岩石真嗣((公財)自然農法セ)	
14:45						49	有機キャベツ栽培転換時の雑草発生の特徴 ~無施肥ライ麦作と耕耘の効果~ ○岩石真嗣・千嶋英明・石綿 薫・大久保慎二・加藤 茂・徐 啓聡・徐 会連((公財)自然農法セ)	
15:00	ミニシンポジウム4 環境リスク便益分析を学ぶ:生産と環境が調和した農地を維持する雑草管理のために オーガナイザー:吉岡俊人・水口亜樹(福井県立大) コメンテーター:西田智子(農環研) 講演:岡 敏弘(福井県立大)「環境リスク管理の政策評価 ---人健康リスクから生物多様性リスクまで---			ミニシンポジウム5 雑草の福祉活用の展開に関する基礎的諸問題 オーガナイザー:山口裕文・宮浦理恵(東京農大)・梅本信也(京都大)・保田謙太郎(秋田県立大)・大野朋子(神戸大) 講演1:山口裕文(東京農大)・梅本信也(京都大)「雑草の福祉活用に関する課題整理」 講演2:宮浦理恵(東京農大)・保田謙太郎(秋田県立大)「雑草のイメージに関するアンケート調査と解析」 総合討論		開場		
16:30	2日目終了							

ポスター発表 演題・発表者(説明者)一覧

※ 発表者(説明者)が連名である場合は発表者に○を付しています。

※ ポスター番号の下に*が付された発表は、ベストポスター賞の選考対象(若手による発表)です。

奇数番号コアタイム 4月18日(土) 13:30~14:30		偶数番号コアタイム 4月19日(日) 9:30~10:30	
P1 *	宮城県津波被災地の農地整備作業および作付管理過程における畦畔植生の変化 ○西村愛子・浅井元朗・渡邊寛明(中央農研)	P2 *	放射性物質を除染した農地の雑草植生に影響を与える要因の探索 ○好野奈美子(東北農研)・小林浩幸(中央農研)・高橋義彦(東北農研)・浅井元朗(東北農研)
P3	埼玉県川島町におけるヒメホテイアオイ(<i>Heteranthera reniformis</i> Ruiz et Pavon)のハビタット 嶺田拓也(農村工学研究所)	P4 *	静岡県中西部の半自然草地における外来植物の分布と環境条件、耕作履歴および草地面積との関係 ○丹野夕輝(岐阜大・院・連農、静岡大)・山下雅幸・澤田 均(静岡大)
P5	絶滅危惧IB類雑草アゼオトギリの人に依存したリスク分散と丸岡個体群保全のための費用効果分析 ○吉岡俊人・中山祥平・林 裕太・岡 敏弘(福井県立大)	P6 *	UAVによる大豆圃場のマルバルコウ群落の検出に関する研究 ○大橋一允・渡邊 修(信州大)・青木政晴(長野県農試)
P7 *	国際貿易港と市街地間の植生の比較 ○川又栄美・下野嘉子・富永 達(京都大)	P8 *	砂浜に分布拡大している他殖性ドクムギ属の侵入経路の推定 ○樋口裕美子・下野嘉子・富永 達(京都大)
P9 *	上高地、槍穂地域に侵入したオオバコの実態特性と分布推定 ○藤巻慎司・渡邊 修・久野雄大(信州大)	P10	エノコログサの海岸集団および内陸集団における種子休眠特性 ○中嶋佳貴・沖 陽子・野谷政良(岡山大)・伊藤松雄(四国学院大)
P11 *	熱帯サバナ稲作でのイネ科雑草幼植物の出芽・生育と土壌処理除草剤の効果変動に及ぼす土壌水分の影響 ○薄井晶子・森田弘彦・曾根千晴・小川敦史(秋田県立大)	P12 *	アキノエノコログサの畑地集団と路傍集団の生育特性の比較 ○細谷真奈実・渡邊 修(信州大)
P13 *	アレチウリの発生と種子寿命に関する研究 ○伊藤 茜・渡邊 修(信州大)	P14 *	AFLP解析による東・東南アジア産オヒシバの地理的遺伝構造 ○佐藤航海・吉原さくら*・宮浦理恵・山口裕文・亀山慶晃(東京農大、*元東京農大)
P15 *	日本産水稻品種において耐雑草性をもたらす生育特性の探索 ○上山知剛・鈴木克征・土佐雅弘・齊藤大樹・三浦励一・富永達(京都大)	P16 *	異なる培養期間の稲わら・土壌抽出液におけるイネ苗発根およびコナギの発芽・発根の反応 ○阿部大介・三木孝昭・岩石真嗣(自然農法センター)
P17 *	福井県池田町における水田雑草クサネムとアメリカセンダングサの発生状況と堆肥中の混入種子の調査 ○松永侑子・東 建介・吉岡俊人・水口亜樹(福井県立大)	P18 *	Evaluation of allelopathic potentials in medicinal plant species in Ghana by sandwich method ○Kwame Sarpong Appiah (TUAT), Christiana Amoatey (University of Ghana), Yoshiharu Fujii (TUAT)
P19 *	Plant inhibitory activity of gum and resin collected from Iranian plant speices ○Hossein Mardani (TUAT), Majid Azizi (Faculty of Agriculture, Ferdowsi University of Mashhad), Yoshiharu Fujii (TUAT)	P20 *	Plant growth inhibitory activity of furocoumarins from the fruits of <i>Heracleum sosnowskyi</i> and <i>Heracleum dissectum</i> ○Mishyna Maryia (TUAT), Laman Nikolai, Prokhorov Valery (Institute of Experimental Botany), Fujii Yoshiharu (TUAT)
P21	イタリアンライグラス栽培による野菜類への放射性物質吸収抑制の検討と過剰施肥による吸収促進の危険性 ○佐野俊夫・森 俊太・横田 望・堀越龍二(法政大)	P22	水田生物多様性保全のための評価指標探索 1. 関東地域における畦畔植生に及ぼす管理の影響 ○西田智子・楠本良延(農環研)
P23	水稻有機栽培水田における米ぬかの施用が土壌極表層の物理性とコナギ生育に及ぼす影響 ○野副卓人・松嶋賢一・内野 彰・三浦重典(中央農研)	P24 *	チガヤ草地におけるクローン多様度測定法の確立 ○東 建介・水口亜樹(福井県立大)

P25	東北地域の水稻湛水直播栽培における深水管理を活用した除草体系の適用性 川名義明(東北農研)	P26	有機農法での雑草抑制への試み 3. 秋田式水田ロボット除草機の実用機の作製 ○保田謙太郎・高階史章・矢治幸夫・金田吉弘(秋田県立大)・今井淳容(秋田テクノ)
P27 *	Improved Physical Control of Glyphosate-Resistant Italian Ryegrass (<i>Lolium multiflorum</i>) on Rice Paddy Levees in Japan ○Valentina Dwi Suci Handayani1,2, Yuki Tanno1,2, Masayuki Yamashita1, Hiroyuki Tobina1, Minoru Ichihara3, Hitoshi Sawada1 (1Shizuoka University, 2Gifu University, 3Shizuoka Prefectural Research Institute of Agriculture and Forestry)	P28 *	除草剤を利用した雑草イネ防除方法 ○小林庸輔・菅沼丈人・宮下めぐみ・吉井 博(石原産業株式会社)
P29	水田畦畔へのハーブ類導入による雑草抑制効果と斑点米カメムシに対する忌避効果 ○本林 隆・松澤実々・藤井義晴(東京農工大)	P30	高精度水田用除草機の株間振動機構の改良による中後期除草の可能性 ○庄司浩一・土井雅弘・川村恒夫(神戸大)・中井 謙(滋賀農技振セ)
P31 *	小型自走水田除草機の開発に向けた試作と性能評価 ○加藤祐里子・川村恒夫・伊藤一幸・庄司浩一(神戸大)	P32	水稲刈り跡への塩素酸ナトリウム粒剤の処理時期の違いがオモダカの塊茎形成に及ぼす影響—3か年の結果から— 須藤健一(植調兵庫試験地)
P33	選別後のくず大豆に混入していた雑草種子と圃場での出芽能力 ○小林浩幸(東北農研, 現:中央農研)・内田智子(東北農研)・三浦礼(東北農研)	P34	雑草への影響から見たマリーゴールドの種間差異 ○松尾光弘・坂本貴良・湯浅高志(宮崎大)
P35	Selective Control of Weeds in small red bean with Herbicides ○J.B.Hwang, T.S.Park, J.T.Yun, H.S.Kim, I.B.Choi, B.I.Koo, H.S.Bae, S.C.Heo (National Institute of Crop Science, RDA)	P36	防除可能期間の推定からみた温暖化によるダイズ作でのマルバロコウの難防除性増大リスク ○澁谷知子・黒川俊二(中央農研)
P37	ダイズミニコアコレクションにおける条間の被陰速度の系統間差 ○黒川俊二(中央農研)・加賀秋人・津田麻衣(生物研)・澁谷知子(中央農研)	P38	放牧地でのセントオーガステングラスの生育に及ぼす草種間競争および庇蔭の影響 ○大谷一郎・高橋佳孝・堤 道生(近中四農研)
P39	チョウジとハナハッカから放出される揮発性物質の同定と植物生育促進活性 春原由香里・大西 薫・松山 茂・○松本 宏(筑波大)	P40 *	ヒノキチオール処理によるイネ根部での変動タンパク質の解析と活性酸素発生誘導の検討 ○伊藤瑞紀・春原由香里(筑波大)・小松節子((独)作物研)・藤井義晴(東京農工大)・松本 宏(筑波大)
P41 *	オイカルボン処理によるイネ根部でのシュウ酸酸化酵素活性、 H_2O_2 含量、リグニン含量への影響の検討 ○藤村香里・春原由香里・松本 宏(筑波大)	P42	クミンアルデヒド処理によるタマネギ根部での細胞分裂とプログラム細胞死誘導の検討 ○春原由香里・中野 香・松本 宏(筑波大)
P43	九州北部のスルホニルウレア系除草剤抵抗性スズメノテッポウの作用点変異と抵抗性の程度 眞鍋陽平(京都大)・○大段秀記(九州沖縄農研)・下野嘉子・富永 達(京都大)	P44 *	水田畦畔におけるグリホサート抵抗性ネズミギの代替除草剤の選抜と、その体系処理の効果 ○市原 実・井鍋大祐・宮田祐二・神谷径明(静岡農林研)・鈴木 亨(静岡県庁茶業農産課)・山下雅幸・澤田 均(静岡大)
P45 *	中国雲南省の少数民族地域で購入した漢方薬のアレロパシー活性の サンドイッチ法による検定 ○曾 英子・藤井義晴(東京農工大)		